

平成18年11月、フィリピンで狂犬病ウイルスに感染した日本人が、帰国後狂犬病を発症しました。世界各地では、いまだ狂犬病が流行しています。海外へ行かれる際は、むやみに現地の動物と接触しない、特に発生の多い地域へ渡航する時はあらかじめ予防接種を受ける等、十分注意して下さい。狂犬病は通常、ヒトからヒトへ感染することはなく、感染した患者から感染が拡大することはありません。



狂犬病が発病した犬